

# 1. 廃棄物発生子測と現状

## (1) ごみ発生量・家庭系事業系別排出量

### ごみ発生量

廃品回収量とごみ排出量の合計値とした、過去5年間(平成22～26年度)のごみ発生量は下表のとおりです。

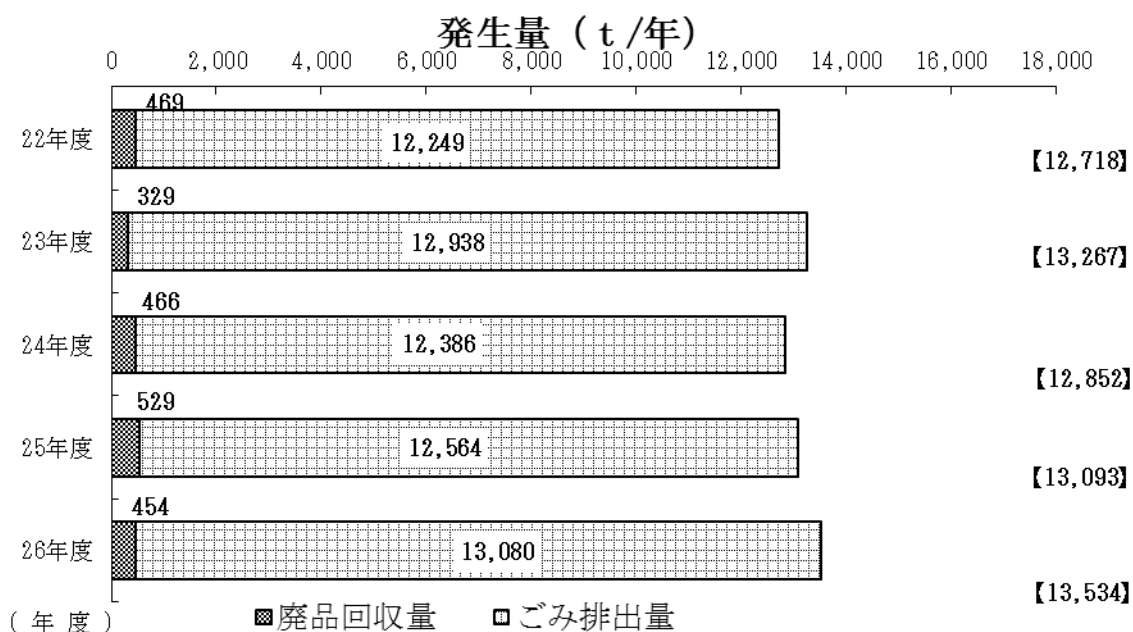
ごみ排出量は、12,000 t～13,000 t 台で推移し、26年度では13,080 t 台で前年度より516 t 増加しています。これは、震災復興事業による引越しなどによる可燃ごみ・粗大ごみの排出量増加が原因です。

廃品回収量については、454 t と前年度より減少しています。

今後も「廃品回収実施団体奨励金交付事業」を活用し、子供会、行政区に呼びかけ、意識の向上と回収量の増加に努めていきます。

(単位：t)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
ごみ排出量 a	12,249	12,938	12,386	12,564	13,080
廃品回収量 b	469	329	466	529	454
ごみ発生量 (a + b)	12,718	13,267	12,852	13,093	13,534



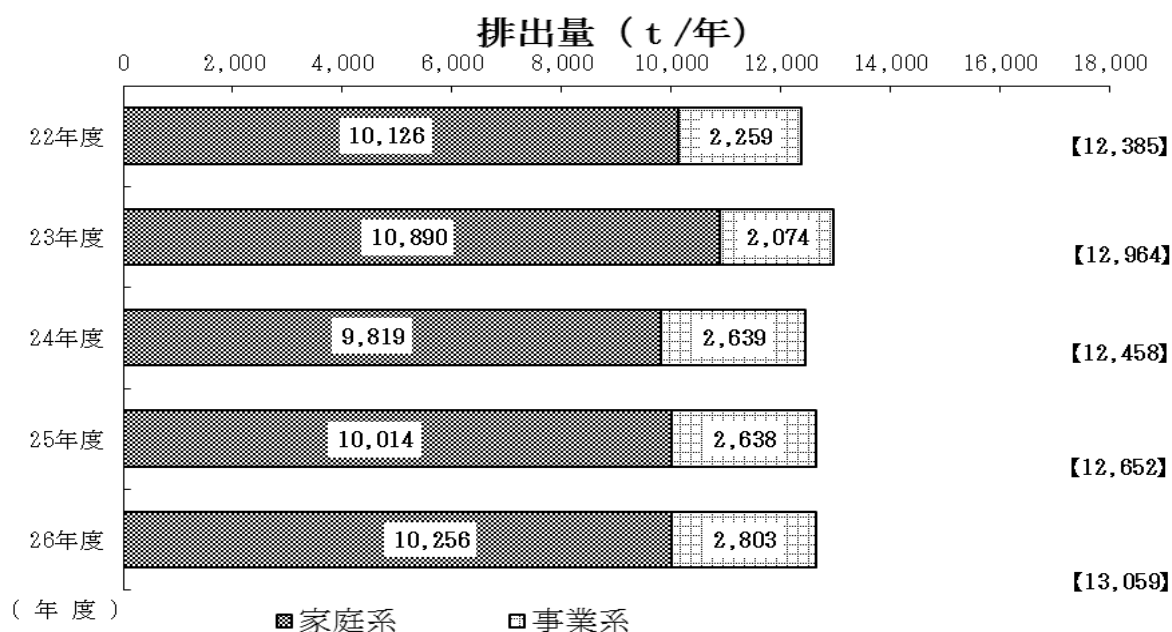
### 家庭系・事業系排出量

家庭系ごみ、事業系ごみに分けた発生系別ごみ排出量の内訳は、下表のとおりで、家庭系ごみの占める割合が約 80%です。

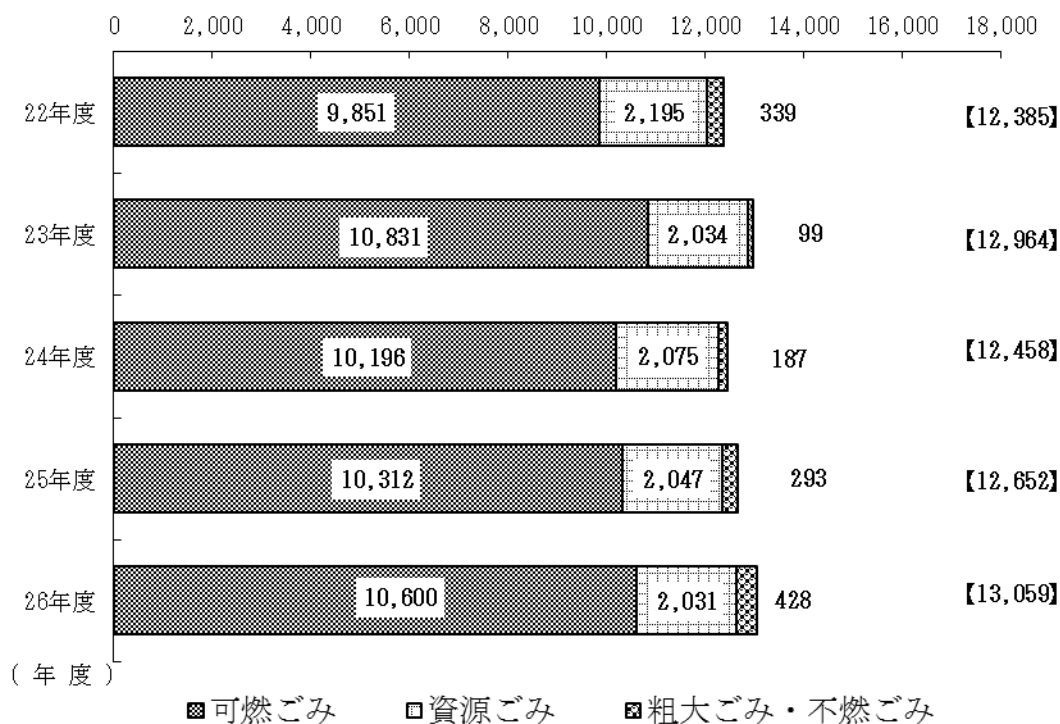
(単位：t)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
家庭系ごみ(委託収集)	10,126	10,890	9,819	10,014	10,256
可燃ごみ(石巻広域分)	7,674	5,378	7,716	7,864	7,985
可燃ごみ(他処理施設分)	0	3,453	0	0	0
資源ごみ(リサイクルセンター分)	1,968	1,880	1,881	1,859	1,856
資源ごみ(容器包装プラスチック)	186	111	145	148	135
資源ごみ(廃食用油)	10	4	3	3	3
粗大ごみ・不燃ごみ	288	64	74	140	277
事業系ごみ(許可・直搬搬入)	2,259	2,074	2,639	2,638	2,803
可燃ごみ(石巻広域分)	2,177	1,599	2,480	2,448	2,615
可燃ごみ(他処理施設分)	0	401	0	0	0
資源ごみ(リサイクルセンター分)	31	39	46	37	37
粗大ごみ・不燃ごみ	51	35	113	153	151
計	12,385	12,964	12,458	12,652	13,059
可燃ごみ(石巻広域分)	9,851	6,977	10,196	10,312	10,600
可燃ごみ(他処理施設分)	0	3,854	0	0	0
資源ごみ	2,195	2,034	2,075	2,047	2,031
粗大ごみ・不燃ごみ	339	99	187	293	428

可燃ごみ(他処理施設分)・・・東日本大震災により石巻広域クリーンセンターが稼働停止となったことから、一時保管した可燃ごみを他の処理施設で処理したものです。



### ごみ質別排出量 (t/年)



平成 26 年度のごみ質別排出量の割合は、可燃ごみ 81%・資源ごみ 16%・粗大、不燃ごみ 3% の割合でした。

## (2) ごみ処理状況

可燃ごみ処理量（石巻広域クリーンセンター分）

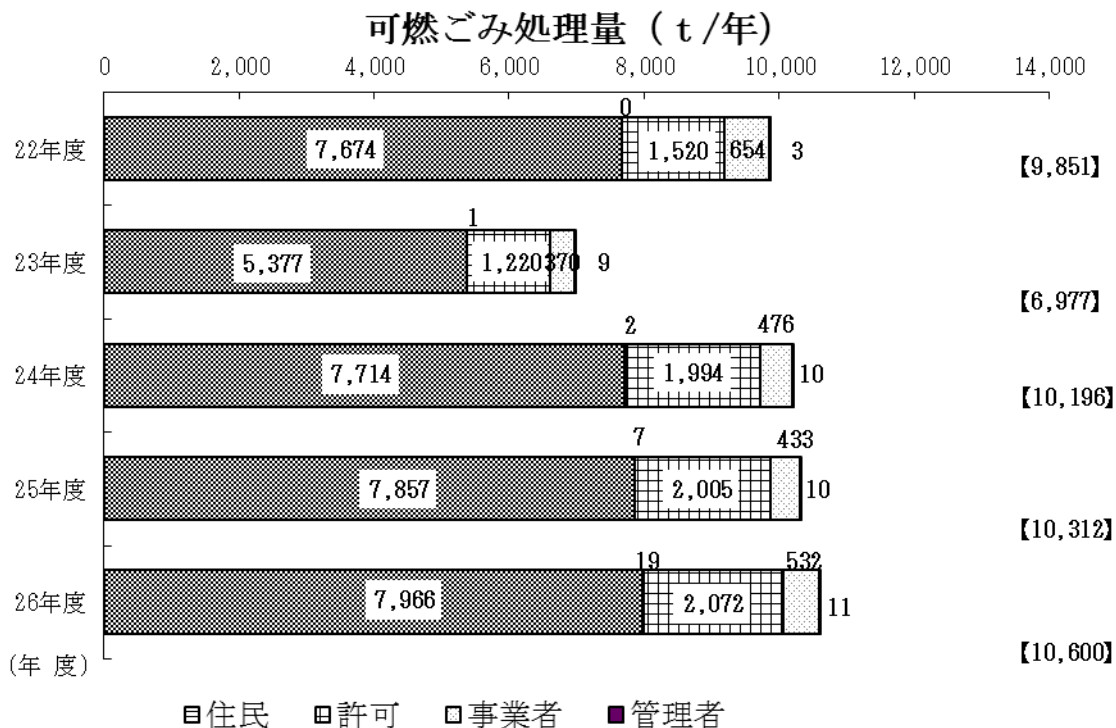
平成 26 年度の可燃ごみ処理は、全量石巻広域クリーンセンターで処理しています。家庭系可燃ごみについては、7,966 t と前年度より 109 t 増加しています。

また、事業系可燃物についても同様に増加しており、そのうち許可業者搬入量は 2,072 t と過去 5 カ年で最も大きい数値を示しました。

これは、復興事業活動が活発に進み、可燃ごみ全体の量が多かったことが考えられます。

(単位：t)

		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
家庭系	委託収集 ア	7,674	5,377	7,714	7,857	7,966
	住民持込 イ	0	1	2	7	19
事業系	許可業者 ウ	1,520	1,220	1,994	2,005	2,072
	事業者 エ	654	370	476	433	532
	管理者 オ	3	9	10	10	11
可燃ごみ処理量 カ(ア～オ)		9,851	6,977	10,196	10,312	10,600
月平均処理量 (カ / 処理月数)		821	775	850	859	883



資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理量

資源ごみは矢本リサイクルセンターで中間処理を行い、粗大ごみ・不燃ごみは鳴瀬一般廃棄物最終処分場で分別し最終処分（埋立）を行います。

資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理数量は次のとおりです。

(単位：t)

区 分			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
資源ごみ等排出	家庭系	委託収集	ア	2,168	1,941	2,041	2,021	1,963
		住民持込	イ	284	118	65	133	294
	事業系（管理者ほか）		ウ	82	74	156	186	188
	資源ごみ等排出量 計		ア+イ+ウ	2,534	2,133	2,262	2,340	2,445
中間処理の状況	資源化量	紙 類	エ	1,054	1,006	1,051	1,025	1,036
		金属類	オ	249	267	253	254	233
		ガラス類	カ	374	332	379	356	371
		ペットボトル	キ	115	101	118	119	111
		容器包装プラスチック	ク	180	108	142	142	135
		硬質プラスチック	ケ	18	1	8	8	14
		布 類	コ	92	44	68	66	78
		木くず	サ	69	7	32	59	90
		ガラス・陶磁器類	シ	79	82	74	61	62
		廃食用油	ス	10	4	3	3	3
		その他 (有害ごみ、廃タイヤ)	セ	11	9	43	24	21
		資源化量 計	a (Σエ～セ)	2,251	1,961	2,171	2,117	2,154
	資源化率（資源化量/搬入量×100）			88.8	91.9	95.9	90.5	88.1
	分別残渣（可燃物・処分場＋容器プラ）		b	135	27	63	88	141
分別残渣 (埋立物：各処分場へ)		c	148	145	28	160	150	
資源ごみ等処理量 計		a+b+c	2,534	2,133	2,262	2,340	2,445	

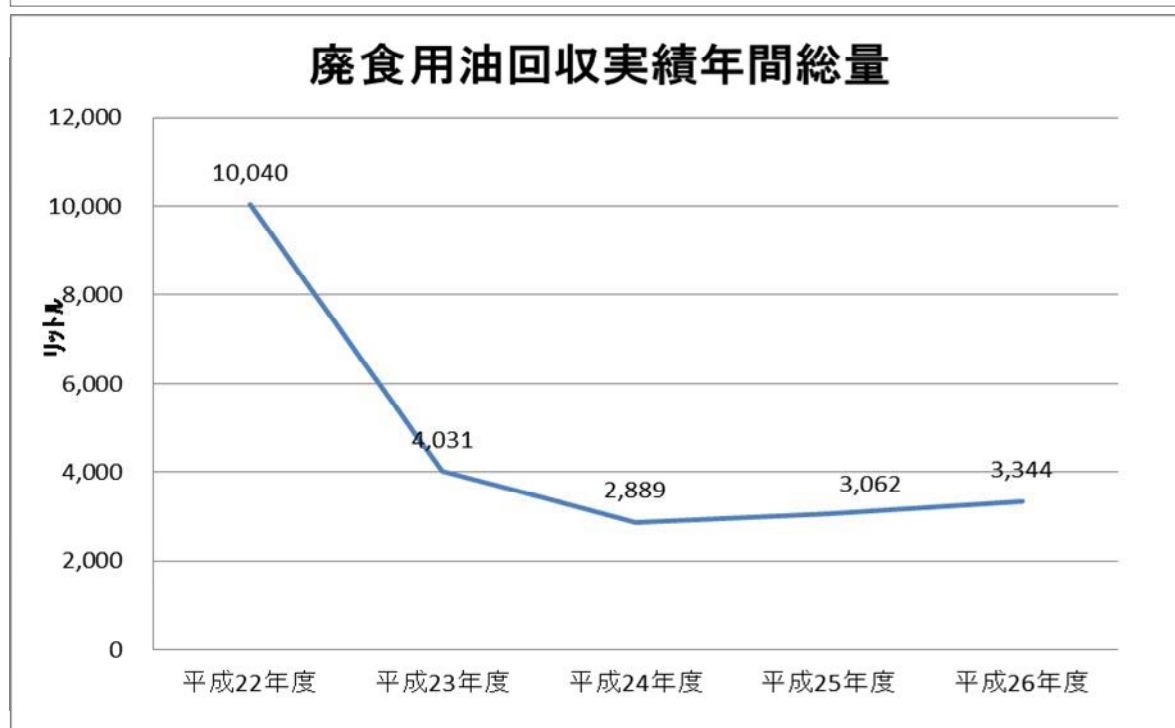
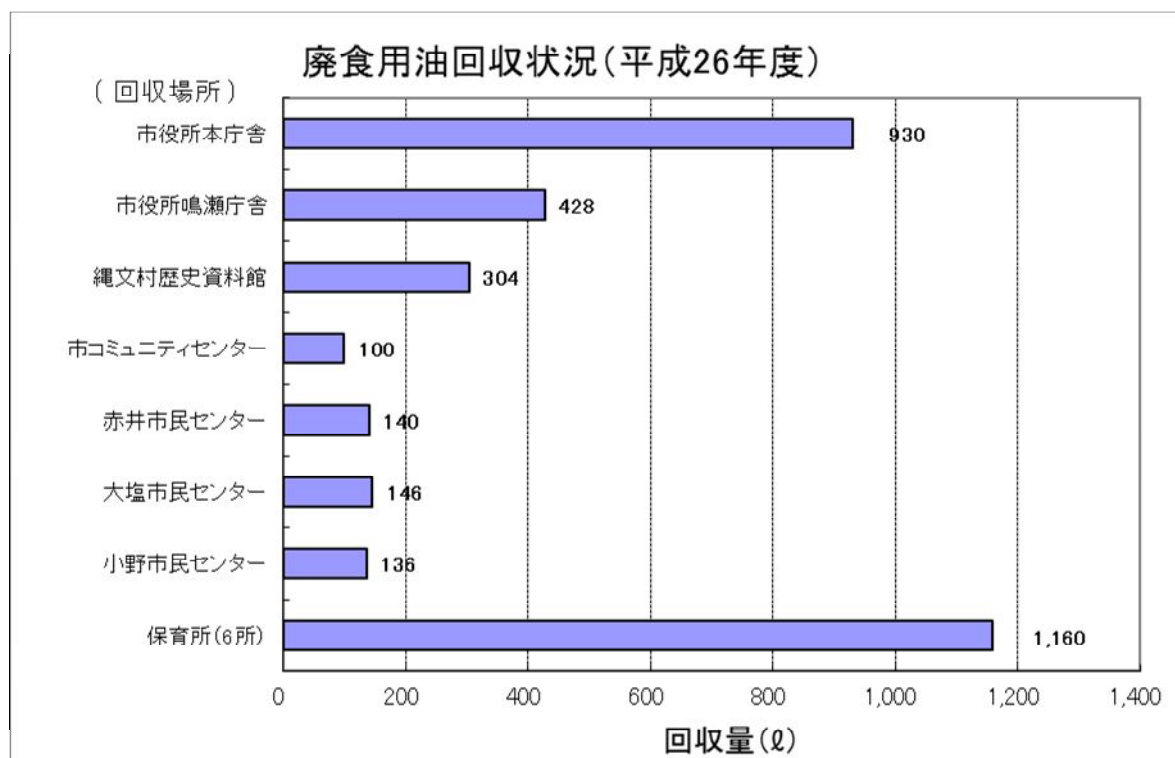
排出された資源ごみは、90%近くが資源化され、最終処分量を減らし、処分場の延命化へとつながっています。

## 廃食用油回収

資源循環型社会の構築と廃棄物減量を目的に、平成19年5月から家庭から排出される廃食用油の回収を行っています。

この事業で回収された廃食用油は、再利用して廃棄物再資源化及び減量等に貢献しています。平成26年度回収量は前年度より282ℓ増加しています。

平成26年度回収量：3,344ℓ（前年度比較 +282ℓ）



### 容器包装プラスチック類の分別収集

平成 20 年 5 月から、容器包装プラスチック類（容器包装プラ）の分別収集を可燃ごみの減量と再資源化のために実施しています。

容器包装プラスチック類の処理は、回収した物を民間処理業者により資源化を行うものです。資源化に不適切なものは、返却され可燃ごみとして処理しています。

（単位：t）

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
回収量	186	111	145	148	142
返却量（可燃ごみ）	6	3	3	6	7
処理量（資源化）	180	108	142	142	135

#### リサイクル率の推移

リサイクル率は、平成 26 年度実績 22.0%となっています。

今後は、資源ごみ等の分別徹底の啓発等により、リサイクル率目標値（平成 28 年度：25%）を目指します。

リサイクル率の推移は次のとおりです。

（単位：t）

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
ごみ処理量 + 廃品回収量 a	12,718	13,267	12,852	13,093	13,534
資源化					
資源化量（矢本リサイクルセンターほか）ア	2,251	1,961	2,171	2,117	2,154
資源化量（石巻広域分）イ	253	122	424	436	363
廃品回収量ウ	469	329	466	529	454
資源化量 + 廃品回収量 b(ア + イ + ウ)	2,973	2,412	3,061	3,082	2,971
リサイクル率 (b / a × 100) %	23.4	18.2	23.8	23.5	22.0

資源化量（石巻広域分）については、可燃ごみを広域クリーンセンターで焼却した後に、焼却残渣物の中に含まれる鉄類等です。

#### 最終処分率の推移

本市の最終処分率は、平成 26 年度実績で 1.7%です。

最終処分率の推移は次のとおりで、平成 22 年度及び平成 24 年度において増加した原因は、石巻広域クリーンセンターからの焼却残渣の搬入があったためです。

最終処分率 5 カ年を平均すると 6.72%と最終処分率目標値（平成 28 年度：10%）を達成しています。

しかし、現在ある最終処分場の延命化を図るため、今後ともごみ減量の啓発と中間処理の充実を図り、最終処分率の減少を目指します。

（単位：t）

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
ごみ排出量 a	12,249	12,938	12,386	12,564	13,080
最終処分量 b	1,204	281	1,337	1,146	219
最終処分率 (b / a × 100) %	9.8	2.2	10.8	9.1	1.7

市民一人1日当たりごみ排出量

市民一人1日当たりごみ排出量は、東松島市一般廃棄物処理基本計画において平成28年度目標を796gと設定しています。

平成26年度では892gとなり、平成25年度と比較して38gの増となりました。

(単位：kg)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人口(10月1日現在) a	43,197人	40,762人	40,457人	40,330人	40,169人
可燃ごみ総排出量 b (クリーンセンター搬入量)	9,850,910	10,831,614	10,196,280	10,311,670	10,740,730
資源 リサイクルセンター 搬入量 c	1,998,760	1,919,460	1,918,070	1,895,800	1,912,500
資源 容器包装プラ資源量 d	179,490	108,810	142,390	142,150	135,330
資源 廃食用油 e	10,040	4,031	2,889	3,062	3,344
粗大・不燃ごみ総量 f (鳴瀬処分場搬入量 - 可燃物 搬出量)	209,430	74,460	126,530	211,400	287,670
総排出量 g (b~f)	12,248,630	12,938,375	12,386,159	12,564,082	13,079,574
一人1日排出量 ( $g \times 1,000 / a / 365$ 日)	776g	810g	839g	854g	892g
市一般廃棄物処理計画に定め る一人1日排出量目標値	886g	871g	856g	841g	829g

